

講義コード Course code	0F2002101
講義名 Course title(Japanese)	憲法 I (総論・人権)
英文講義名 Course title (English)	Constitutional Law I (Human Rights)
(副題) Course subtitle	〔法学部専門科目〕
開講責任部署	
講義開講時期 Semester(s)	後期
講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	4
時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	火曜日
時限 Period	3 時限

#### ナンバリングコード

所属名称	ナンバリングコード
	L1-PUL101LJ

#### 担当教員 Lecturer(s)

職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Hands-on experience	所属学部 Department
専任教員	清水 潤		法律学科

#### 授業の内容（主題）

##### Course description

憲法の基本的人権について講義します。人権の歴史や理念、諸外国との比較を踏まえつつ、日本の学説及び判例がどのように人権について議論してきたかを学習します。

憲法については、ニュースや高校までの学習で一応のことは勉強していると思います。大学の学習では、憲法という法の本質、歴史、諸外国での運用などの、憲法の基礎的な知識を学びます。

また、学者や裁判所がこれまで日本国憲法をどのように解釈してきたのか、そのような解釈はどのような根拠に基づいているのか（いないのか）も学びます。

世界各国や日本が到達した憲法による人権保障の状況を知り、それが果たして望ましいものなのか、今後はどのように憲法を考えていくべきなのかについて勉強します。

## 到達目標

### Course objectives

日本国憲法が保障する人権がどのようなものかについて、学説と判例を踏まえて議論できるようになること。

## ディプロマポリシーとの関連

### Accordance with diploma policy

◎：非常に強く関連する

○：強く関連する

△：関連する

空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	○
②激変する国際社会の中にあつて、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立つて将来を展望し、行動できる能力	○
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	○
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	◎

## 授業計画表

### Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第2回	人権の歴史 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第3回	人権の内容と分類 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第4回	人権の享有主体 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第5回	人権の限界と公共の福祉 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。

第6回	人権の私人間効力 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第7回	幸福追求権① 包括的基本権とは何か 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第8回	幸福追求権② 新しい人権 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第9回	平等権① 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第10回	平等権② 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第11回	精神的自由権総論 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第12回	表現の自由① 表現の自由の原理 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第13回	表現の自由② 表現の自由の制約の合憲性 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第14回	表現の自由③ アクセス権、知る権利、取材とマスコミ 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第15回	集会・結社の自由 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第16回	思想良心の自由 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。

第17回	信教の自由と政教分離 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第18回	学問の自由と大学の自治 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第19回	経済的自由、規制目的二分論 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第20回	職業選択の自由 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第21回	財産権と公用収用 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第22回	人身の自由① 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第23回	人身の自由② 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第24回	国務請求権とは何か 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第25回	参政権 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第26回	生存権と生活保護 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第27回	労働基本権 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第28回	教育を受ける権利 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。

第29回	人権と憲法上の権利 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第30回	まとめ 教科書を用いて予習、復習を行う (4時間程度)	教科書を読み予習し、授業ノート及び教科書を用いて復習する。
第31回		

### 授業計画コメント

#### Course outline

憲法の人権論についてのオーソドックスな講義を行います。

### 授業の進め方

#### Session plan

講義形式ですが、適宜、学生に考える時間を与え、一方的な知識の伝達にならないようにしたいと思います。

### アクティブラーニング

#### Active learning

適宜質問を投げかけることで、学生の主体的な学びを促したいと思います。

### 授業時間外の学修（予習・復習等）

#### Preparation and review outside classroom hours

教科書と判例集を読んで予習してきてほしいと思います。

### 教科書等

#### Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author(s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1	憲法Ⅱ 人権（第2版）	新井誠ほか	日本評論社	2021	2090	
2	憲法判例50！（第3版）	上田健介ほか	有斐閣	2023	1980	
3						
4						
5						

### (必ず購入すべきもの)

#### Materials required for sessions

上記教科書2冊の予定です。しかし、変更の可能性も一応あるので、教科書売り場に本が並ぶまで購入はしないことをお勧めします。

また、版が新しいものにも変わる可能性もありますので、その意味でも後期授業開始まで購入は待った方が良いでしょう。

### 参考図書

#### Reference book(s)

授業中に指示する

### 成績評価方法および評価基準

#### Evaluation criteria

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	100%	0%	0%	0%

### 成績評価の方法に関する注意点

#### Assessment criteria

定期試験100%。  
出席は成績に関係しません。また、レポート等は課しません。

### 課題のフィードバック

#### Feedback

授業中にサンプルテストを配布して問題演習をする予定です。  
また、試験の結果を研究室ドアに掲示する予定です

### 学生へのメッセージ（履修上の心得）

#### Message to students (class guidelines)

授業範囲について、教科書と判例集を事前に読んで予習してほしいと思います。

### 科目のレベル、前提科目など

#### Level / Prerequisites

1年生向けの必修授業です。憲法の人権論の基本が身につく、公務員試験、資格試験等には一応対応できるはずですが

### キーワード

#### Keyword(s)

憲法、人権

### 備考

#### Other(s)

必修科目なので単位取得しないと卒業できません。  
科目や教員との相性は学生によりさまざまであり、どのような問題に興味を持つか、どのような教員の言っていることが面白いと思うかは、学生により様々です。

にも拘らず、強制的に特定の科目を履修させることは我々にとって酷なことだと思います。

しかし制度上そうなっているのでさしあたりは従うしかありません。

「制度上そうなっているのでさしあたりは従うしかない」のは何故でしょうか。

ナチスがユダヤ人の殺害を命じてもそれに従うしかないのでしょうか。

こういう問題が気になり始めた方は、法学の本質部分に気づき始めていると思います。

この授業でも、「人が人を強制できるのは何故なのか」といった、法学の基本的な問題を重視したいと思っています。